

日本の所得分配と格差

「所得分配・格差研究委員会」(*主査)

*宮島 洋 (東京大学大学院経済学研究科教授) 石田 浩 (東京大学社会科学研究所教授)
 大沢真知子 (日本女子大学人間社会学部教授) 太田 清 (政策研究大学院大学教授)
 玄田 有史 (東京大学社会科学研究所助教授) 小西 秀樹 (学習院大学経済学部教授)
 駒村 康平 (東洋大学経済学部助教授) 松浦 克己 (横浜市立大学商学部教授)
 (篠崎 武久 学習院大学大学院経済学研究科: 報告書論文執筆)

第Ⅰ部は、松浦論文が、「日本における分配問題の概観」により分配問題の分析方法やデータの信頼性確保という基本的論点を明確にしたうえで、近年における我が国の所得、資産および消費の分配状況を検証した。原嶋・手嶋論文は、「賃金格差の実態」で従来の年齢間、男女間、企業規模間、産業部門間等の賃金格差に加えて、技能に応じた賃金格差の問題にも踏み込んで実態を検討した。石田論文は、「社会移動から見た格差の実態」により国際比較と時系列比較の枠組みにおいて、地位決定のメカニズムという社会的アプローチから世代間の職業移動格差について検討を行った。

第Ⅱ部は、大沢論文が「非正規労働者増加がもたらす労働市場の二極分化」を分析。太田論文が、「所得等の格差と人口の高齢化」により世帯全体の所得格差の状況・推移を人口高齢化との関連から考察した。駒村論文が「少子高齢化社会における遺産・相続の実態と相続制度改革」で実証分析と制度改革を論じた。

第Ⅲ部は、玄田・篠崎論文「賃金格差と仕事格差」が、賃金格差をその規定要因となっている就業条件の変化にも拡大して「仕事格差」という新たな問題意識を導入した。小西論文は「所得格差とジニ係数」により格差分析の規範的な、含意・留意点を理論的に論じた。

目次

序 章 日本の所得分配と格差

第Ⅰ部 格差の諸相

第1章 日本における分配問題の概観

第2章 賃金格差の実態

第3章 社会移動から見た格差の実態

第Ⅱ部 格差の要因

第4章 所得等の格差と人口の高齢化

第5章 非正規労働者増加がもたらす労働市場の2極分化

第6章 少子高齢化社会における遺産・相続の実態と相続制度改革

第Ⅲ部 格差の見方

第7章 賃金格差と仕事格差

第8章 所得格差とジニ係数